

2026年5月14日

各位

会社名 株式会社 リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村 義一
(コード番号: 4591 東証グロース)
問合せ先 財務経理部長 今井 利哉
<https://www.ribomic.com/contact.php>

営業外収益(助成金収入・為替差益)及び特別損失(固定資産の減損損失)の
計上に関するお知らせ

2026年3月期第4四半期会計期間(2026年1月1日から2026年3月31日)において、営業外収益(助成金収入・為替差益)及び特別損失(固定資産の減損損失)を計上致しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(助成金収入)の内容

現在開発を進めております軟骨無形成症治療薬 umedaptanib pegol が、2025年5月に希少疾病用医薬品指定(ODD)されたことを受け、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所(NIBN)から助成をいただいております。

この度、2026年3月期分の確定検査が終了し、受取る助成金の金額が確定しましたので、2026年3月期第4四半期会計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)において39,160千円を計上いたしました。

なお、2026年2月16日付「軟骨無形成症治療薬 umedaptanib pegol に対する令和7年度希少疾病用医薬品等試験研究助成金の交付額増額のお知らせ」から変動はございません。

2. 営業外収益(為替差益)の内容

2026年3月期第4四半期会計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)において、為替相場が円安に推移したことにより、当社が保有する外貨にて為替差益が発生したこと等により、26千円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。その結果2026年3月期累計期間(2025年4月1日～2026年3月31日)において、合計で98千円の為替差損を計上しております。

3. 特別損失(固定資産の減損損失)の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する固定資産につき減損処理を行ったことにより減損損失5,578千円を計上いたしました。

4. 業績に与える影響

上記、営業外収益(助成金収入・為替差益)及び特別損失(固定資産の減損損失)の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照ください。

以上